

記者発表資料

平成23年4月12日

九州地方整備局
延岡河川国道事務所**東北地方太平洋沖地震対応における排水ポンプ車支援
～約1ヶ月間の任務を終え、昨日（11日）延岡へ帰還～**

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）で被災し、津波等により冠水した箇所の排水活動を行うため、延岡河川国道事務所保有の排水ポンプ車（1台当り排水能力：毎分30m³）2台により、宮城県石巻市の2箇所の現場で排水運転を行ってきた清本鉄工（株）と矢野建設（株）の派遣隊は、3月13日の出動から約1ヶ月間の任務を終え、昨日（11日）までに延岡市へ帰還しました。

今回は、地震の被害が甚大で、派遣先でのポンプ運転要員の確保などが困難な状況であったことから、車両の運搬だけでなく、現地でのポンプ設置や運転など一連の支援活動を行って来ました。また、ライフラインの不通や宿泊場所の確保、食料や燃料の調達など非常に厳しい状況下で、かつ撤収間近の4月7日には宮城県内震度6強の最大の余震が発生した中で、強い使命感のもと懸命に任務に従事して頂き、延べ約740千m³もの水を排水（25mプール約1,850個分に相当）し、復旧・復興への貢献を行って来ました。

なお、今回出動した延岡河川国道事務所保有の排水ポンプ車2台は、別の九州地方整備局管内の派遣要員による排水作業を継続するため、引き続き東北地方に存置しています。（排水ポンプ車の撤収時期は未定）

※活動の概要は、【別紙】の排水ポンプ車活動経過等を参照して下さい。

【問い合わせ先】

国土交通省 延岡河川国道事務所 技術副所長 川野 晃
工務第1課長 戸田 博康

〒882-0803 宮城県延岡市大貫町1丁目2889番地

電話：0982-31-1155（代） FAX：0982-33-6907

<http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/>

【別紙】 排水ポンプ車の活動経過



【主な活動経過】

- ・3月13日 福島県郡山市(最初の活動拠点)に向け延岡市を出発
- ・3月14日 福島県郡山市に到着(九州管内では最初に到着)
- ・3月15日 活動の拠点を郡山市から岩手県一関市に移動
- ・3月18日 宮城県石巻市井内地区(①)で排水運転開始
- ・3月24日 石巻市井内地区の排水運転終了、宮城県仙台市へ移動
- ・4月 5日 石巻市釜谷地区(②)で排水運転開始
- ・4月 8日 第1班[清本鉄工(株)]:石巻市を出発(支援引継ぎ)
- ・4月10日 第2班[矢野建設(株)]:石巻市を出発(支援引継ぎ)
第1班[清本鉄工(株)]が延岡市に帰還
- ・4月11日 第2班[矢野建設(株)]が延岡市に帰還

※延岡河川国道事務所の排水ポンプ車2台は、引き続き東北地方に存置
(11日時点で、九州管内から6台出動中)

排水ポンプ車の活動状況



宮城県石巻市井内地区での設置状況



宮城県石巻市井内地区での排水状況



宮城県石巻市釜谷地区での排水状況①



宮城県石巻市釜谷地区での排水状況②

【派遣期間】 平成23年3月13日～4月11日(現地滞在;27日間)
この間に、延べ約340名が活動に従事(日当り派遣人員×派遣日数)

【排水運転時間】 延べ410時間(ポンプ車2台の合計)

【排水した量】 約740千m³(ポンプ車2台の合計)
(25mプール 約1,850個分に相当)